

## 平成 25 年度第 2 回男女共同参画プラン庁内連絡会議【意見内容】

### 議題 (1)「男女共同参画」町広報掲載原稿について (案) について

- 全体の年齢層を対象とすると、目をひかない。
  - ・ 年齢別・世代別・性別などに絞って記事を書ける。
  - ・ 挿絵をうまく使ってアピールする。
  - ・ 誰もがわかるような内容を考えたい。
  - ・ 最初は、「男女共同参画」というものを知っている人よりも知らない人を対象として周知 ⇒ 各世代層に向けての記事 に持っていく



まずは、「このような事業がある！」と興味を持ってもらう

- ・ 広報の方法として、ある程度の周知ができれば、身近で活躍する女性へのインタビューなども掲載してもよいのではないか。
- プラン将来像「男女が共に支えあう心豊かなまち湘南にのみや」の「支えあう」の捉え方が誤解されやすいのではないか。
  - ・ 言葉の感じで、「男性は仕事、女性は家事」でも支えているというニュアンスになってしまうのではないか。
  - ・ 「個人を理解する、認め合うことで相互に支え合う」という意味であることをうまく伝えていかなければならない。
    - ※自分が良くても、相手には迷惑になることもある。
    - ※男女の受けとめかたが違うので、それぞれの立場を知った上で、認めあう事が大切である。
  - ・ 本来の男女の役割があるのは、悪いことではない。力の差など向き不向きもある。 ⇒ 意識啓発が必要である。